



きさらづ

# 市議会だより

平成17年11月1日

第89号

編集・発行 / 議会広報特別委員会  
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/



稲荷森公園 菊まつり

## 9月定例会

# 平成十六年度木更津市歳入歳出決算の認定についてなど

## 30議案を可決

九月市議会定例会は、九月十三日から十月四日までの二十二日間の会期で開かれました。今定例会では、平成十六年度木更津市歳入歳出決算の認定について、自治体病院の医師確保対策を求める意見書に関する発議案など合計三十議案が審議され、可決・認定・同意されました。また、十人の議員が一般質問（個人質問）を行いました。

### 本会議の経過

初日 9/13

今定例会の会期を十月四日までの二十二日間と決定した後、例月出納検査の結果等に関する諸報告が行なわれました。次に、市長提出議案二十八件（議案第52号、議案第79号）と陳情一件が上程され、提案理由の説明などが行われました。続いて、先議を要する議案五件（議案第52号、議案第56号）について、委員会付託を省略して審議した結果、いずれも原案どおり可決・同意されました。次に、決算関係議案二件について大綱質疑が行われました。続いて、決算審査特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。その後、議案一件並びに陳情一件を、次のおり所管委員会へ付託

## 9月定例会の日程

日程	議事の内容
9月13日(火)	本会議 (諸報告 議案等上程 議案審議 決算審査 特別委員会の設置・議案等付託 一般質問)
14日(水)	本会議 (一般質問)
15日(木)	本会議 (一般質問)
16日(金)	常任委員会 (総務企画消防・経済環境・教育市民福祉・土木都市水道)
20日(火)~22日(木)	決算審査特別委員会
10月4日(金)	本会議 (議案等審議 諸報告 発議案上程 発議案審議)

することとしました。教育市民福祉常任委員会：陳情一件（第11号） 決算審査特別委員会：議案二件（第64号、第79号） この後、三人の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解や方針などを質しました。 2日目 9/14 四人の議員による一般質問が行われました。 3日目 9/15 三人の議員による一般質問が行われました。

最終日 10/4 委員会付託案件の審議結果などについて、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員長報告どおり、原案認定二件（議案第64号、第79号）、採択一件（陳情第11号）と決定しました。 次に、付託省略議案（議案第57号、第63号及び議案第65号、第78号）が審議され、いずれも原案どおり可決・承認・同意されました。この後、諸報告が行

### 紙面ガイド

1面	本会議の日程と経過
2面	一般質問と答弁の概要
3面	決算認定について及び意見書
4・5面	議案等の内容及び議決結果及び委員会のうごき
6面	

## 傍聴者の状況

区分	7~9月計	17年累計
本会議	61人	236人
委員会	0人	8人
合計	61人	244人

われ、最後に、意見書の提出に関する発議案二件（発議案第10号、第11号）が上程され、提案理由の説明が行われ、委員会付託を省略し審議した結果、いずれも原案のとおり可決され、九月定例会の全日程を終了しました。

## 一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映

内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。  
時刻 / 定例会ごとに異なります。

# 9月定例会 一般質問と答弁の概要

## 一般質問の項目(質問順)

住ノ江雄次 議員

- アスベスト問題について
- 通学区変更の諸課題について
- 介護保険改正について
- 障害者施策について

橋口 武信 議員

- 次世代育成施策について
- 市民の安心、安全について
- 教育行政について

佐藤多美男 議員

- アスベスト問題について
- アクア木更津ビルへのギャンブル場誘致について

貴 一義 議員

- 本市行財政運営の諸課題について
- 地域振興の方策について
- 君津中央病院問題について
- 盤洲干潟の保全について

大村 富良 議員

- 教育行政について
- みなと木更津再生構想について
- 羽田空港再拡張事業について
- 圏央道とアクアラインの活用について
- 医療・福祉行政について

山形 誠子 議員

- 学校給食問題
- アクア木更津の空床対策
- 震災対策

鈴木日出男 議員

- 行政責任について
- 将来の木更津市街づくりビジョン作りについて

白坂 英義 議員

- 市民サービスの向上について
- 保健福祉行政について

野田 芳久 議員

- みなと木更津再生構想について
- 木更津市フィルムコミッションについて
- 中野・畑沢線について
- 交通機関の見直しで定住人口増対策を図ろう

金井 珠美 議員

- 環境行政について
- 障害者自立支援法について
- たちより館「金のすず」について

9月定例会では、10人の議員が市政に対する一般質問(個人質問)を行い、大綱32点・88項目にわたり市当局の見解や方針などをたどりました。

紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を、掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。

### 住ノ江雄次 議員

#### アスベスト問題について

問 本市では、公共施設のアスベストに関し、どのように実態調査を進めているのか伺いたい

答 本年八月二日に石綿対策会議を開催し調査実施を決定、目視または設計図書により、市が管理する二〇一施設を調査し、その結果、アスベスト未使用確認が一六二施設、再調査を要する施設が三九施設であった。小・中学校の施設では、既に再調査を実施している。

問 市内小学校の給食室での緊急工事の経緯と他の教育施設での対応について伺いたい

答 高柳・祇園両小学校では、中学校給食拡大に伴う給食室改修工事において非飛散性のアスベストが検出されたが、安全に撤去が完了した。また、市内全小・中学校で目視調査を実施し、吹きつけ材の調査も行った。結果がまとまり次第に対応を図っていく。

### 橋口武信 議員

#### 教育行政について

問 吹きつけアスベストが使用された一定基準以上の建築物の解体、改造、補修工事は、法による県への届出が義務付けられているが、市としては、しっかりと把握できているのか

また、基準以下の場合は、安全性は保障されるのか伺いたい

答 県から届出の写しを送付してもらったことと、作業について把握できているものとする



機械室天井の吹きつけアスベスト

### 橋口武信 議員

#### 教育行政について

問 特色ある教育活動の取り組みとその広報活動等を展開することとは、定住人口の増加とまちの活性化に繋がると思うが、「教育のまち・木更津市」を宣言する考えはないか

答 本市では、平成四年に生涯学習都市宣言を行い、生涯学習の基礎を培う小・中学校の教育において、特色ある学校づくりに取り組んでいる。

問 文部科学省の基準財政需要額に対し、本市の小学校予算合計及び中学校予算合計はどのようになっているのか

答 小学校費の基準財政需要額九億五千六百六十六万円に対し、予算額九億五千七百五十五万五千円、中学校費では、需要額五億七千八百六十三万一千円に対し、予算額五億六百七十七万五千円となっており、予算額合計で、七千三百三十一万一千円ほど少ない状況となっている。だが、公債費の中に教育関係予算が含まれるので、予算全体としては需要額を上回っている。

問 吹きつけアスベストが使用された一定基準以上の建築物の解体、改造、補修工事は、法による県への届出が義務付けられているが、市としては、しっかりと把握できているのか



富岡小学校の授業風景



佐藤 多美男 議員

アクア木更津ビルへの  
ギャンブル場誘致について

問 市長は、アクア木更津ビルのサブリース会社である日本総合企画(株)が進める場外馬券場の設置計画について、ビル所有者としてどう考えるのか

答 アクア木更津ビルは、ビルの管理運営をサブリース会社である日本総合企画(株)が行うという枠組みの中で、昨年四月リニューアルオープンし、この一年余り、厳しい経済環境の中でよく頑張っていると思う。設置計画を

いることは、現時点でも変わりはない。

問 金田地区に計画のあった場外馬券場計画に対し、市議会が反対の意思表示をした経緯があるが、今回の計画について、

答 市は、再開発ビルを取得する際、商業ビルとして維持する方針だったが、今もその方針に変わりはないか

答 アクア木更津ビルは中心市街地の活性化に資するため、基本的に商業ビルとして再生することを目指している。今後、団塊世代の退職が人件費抑制に働く。市民公募債の導入も検討しながら、元氣な木更津を実現できる事業を積極的に展開していきたい。



アクア木更津ビル

一 義 議員

本市行財政運営の諸課題  
について

問 平成十四年度、十五年度、十六年度と3年連続実質単年度収支が赤字決算となっているが、市長はどう考えるか。また、赤字解消をどのように図っていくのか伺いたい

答 本格的な景気回復には至らない経済状況の中、アクアライン木更津東京線高速バスの運行開始、金田高速バスターミナルと駐車場の整備、西口再開発ビルのアクア木更津としてのリニューアルオ

ープンなどの事業を実現しながら、十六年度は実質収支で十億七千万円余りの黒字決算となった。しかし、決算の実質的増減を捉える実質単年度収支が七億七千万円余り赤字となっており、財政運営の厳しさがより増してきていると考えている。

問 赤字解消については、行財政改革5か年プランを着実、厳格に進めるとともに、企業誘致等による自主財源確保に取り組む考えで



金田高速バスターミナルと駐車場

大村 富良 議員

圏央道とアクアラインについて

問 中野畑沢線は、東京湾アクアラインの木更津金田インターチェンジと市街地を最短で結ぶ幹線道路であり、渋滞解消、歩行者の安全確保などのための最重要道路と考えられる。市が進める中央地区の工事の進捗状況と供用開始時期について伺いたい

また、千葉県君津地域整備センター及び君津整備事務所が所管する新宿交差点から金木橋までの工事の進捗状況

は、舗装工事及び久津間橋の架け替え工事が完成すると、平成十八年度末には供用開始予定である。また、君津整備事務所が整備している新宿交差点から吾妻神社前までの区間については、十七年度末の供用開始に向けて整備を進めている。なお、吾妻神社から中里、江川方面の整備については、幾つかの問題解決を図りながら進めることになるとのことである。

問 岩根駅方面から金木橋南側に接続する市道二〇二八号線は、県整備センターの整備状況に合わせ対応したいと考えている。



中野畑沢線 金木橋

山形 誠子 議員

学校給食問題

問 二学期から給食を実施する予定であった清川中学校と岩根中学校では、九月から予定どおり実施されたか。実施されたならば、どのような方式で実施しているのか。実施できないのならば、いつから実施するのか

答 両校とも配膳室の改修工事は完成し、備品類もすべて納品されている。小学校側の調理施設の工事がアスベストへの対応で若干遅れたが、今後、本

査、厨房機器の試運転、調理及び搬送業務のりハール、中学校側の受け入れ体制のチェック、配膳の練習、試食などを実施し、十月三日には給食を開始したい。

問 来年度給食実施予定二校の準備状況について、第一中学校分の調理を行う第一小学校の改築時期と実施計画、岩根西中学校での施設整備の予定について伺いたい

答 来年度早期実施



清川中学校 配膳室



鈴木 日出男 議員

行政責任についてー中野畑沢線決定  
についての経過説明についてー

問 アクアラインと  
中心市街地を結ぶ交通  
アクセスについては、  
中野畑沢線とは別の湾  
岸道路計画として、君  
津の新日鐵から本市の  
商工会議所、自衛隊沖、  
盤洲干潟、アクアライ  
ンの下を通り袖ヶ浦駅  
前の湾岸道路に接続す  
る道路計画があつた  
が、現在どのようにな  
っているのか

答 湾岸道路の実現  
化に関しては、平成十  
三年度から国に対して  
事業化を要望してきた

白坂 英義 議員

市民サービスの向上について

問 市の窓口業務に  
ついて、市民の利便性  
を考え、総合窓口制度  
を導入する考えはない  
か

答 現在、各課で  
は窓口業務の確実性、  
迅速性の向上に努めつ  
つ、きめ細やかな対応  
に心がけている。

総合窓口制度は、数  
多くのメリットがある  
と十分認識しているが、  
利用度の高い戸籍関係  
が電算化されていない  
ことや、システム変更、  
受付スペースの設置な

て昭和三十八年に都市  
計画決定を受けた。そ  
の後、本市では都市計  
画マスタープランにお  
いて、中心市街地連絡  
道路及び広域的地域間  
交流の軸となる重要幹  
線道路と位置  
付けている。  
市としては、  
本路線の早期  
開通に向け土  
地区画整理事  
業、街路事業  
による整備を  
実施すると  
もに、県に早  
期整備を要望  
している。

現在、金木  
橋から袖ヶ浦  
市境までの区  
間及び桜ヶ丘地区並  
に国道16号から中心市  
街地までの区間が未整  
備となっているが、本  
路線の重要性から早期  
の全線開通に向け、鋭  
意努力していきたい。



中野畑沢線 新宿・吾妻区間の工事

野田 芳久 議員

中野・畑沢線について

問 中野畑沢線のう  
ち港南台から潮見木高  
線の整備に関し、平成  
十六年九月定例会にお  
いて、「中野畑沢線桜  
ヶ丘地区の整備に関す  
る請願」が採択された  
が、第2次総合3力年  
プランには織り込まれ  
ず宙に浮いた状態であ  
る。財政が厳しい上、  
文化財が多く時間を要  
する場所であるが、本  
市の最重要路線と位置  
付けられている高規格  
道路であり、採択以降  
の、市としての取り組

みについて伺いたい  
答 中野畑沢線は、  
アクアラインと木更津  
駅西側市街地を結ぶ幹  
線であると同時に、袖  
ヶ浦市と君津市を結ぶ  
都市間交通の幹線とし  
ても重要な路線である  
と認識している。請願  
箇所である、小浜、港  
南台から桜井地先の桜  
ヶ丘地区整備について  
は、早期に実現したい  
と考えている。当該箇  
所を優先的に位置づけ、  
地形測量、路線測量、  
文化財調査等の必要経



港南台でストップしている中野畑沢線

費を措置し、関係地権  
者の理解を得ながら、  
段階的に整備を進めて  
いきたい。  
当該路線の整備は、  
畑沢地区等から中心市  
街地への利便性が図ら  
れ地域活性化  
が期待できる  
ことや、企業  
誘致や定住促  
進の点からも  
早期に事業着  
手に努めたい

問 港南台  
から潮見木高  
線までの整備  
について、今  
後の見通しを  
伺いたい  
答 今後の  
見通しである  
処している。対策とし  
て、閉鎖時間を発券所  
の閉鎖時間に合わせた  
り、喫煙、飲酒等の禁  
止について注意書きを  
掲示したり、椅子で寝  
ることができないよう  
にするなどの  
対応を行って  
いる。

金井 珠美 議員

たちより館「金のすず」に  
ついて

問 金のすずが路上  
生活者等に占拠され利  
用しづらくなっている  
現状にあるという問題  
が、解決されないまま  
現在に至っている。そ  
こでまず、金のすず建  
設に関する経緯、経過、  
また、建設目的につい  
て確認したい

問 金のすずの利用  
状況など、現状をどの  
ように認識しているの  
か。また、現在に至る  
までに、どのような対  
策を行ってきたのか

答 金のすずは、本  
市の玄関口である駅東  
口の公衆トイレの老朽  
化から、その建て替え  
が必要とされ、高速バ  
ス発券所と駅利用者の  
待合所、買い物客の休



たちより館「金のすず」

問 金のす  
ず二階部分の  
今後の利用方  
法について、  
どのような具  
体的な方策を  
考えているの  
か伺いたい  
答 本年三  
月以来空床と  
なっていた一  
階物販所の利

用者が決まり、出店準  
備が進んでいるので、周  
辺環境の変化等を見極  
めた上で、誰もが安心  
して利用できる施設と  
なるよう適切に対応に  
努めたいと考えている。



AED(自動体外式除細動器)

取り決めているか、  
また、どこに何台設置  
しているか、使用実績、  
市内の心臓停止による  
突然死の発生件数につ  
いて伺いたい  
答 AED装置に関  
する取り決めは  
特になし。現在、  
装置は消防署の  
救急車に設置さ  
れている。今後  
は市の施設を始  
め、民間施設に  
も設置されるよ  
う啓発したいと  
考えている。

心臓停止によ  
る突然死の発生  
状況について  
は、救急出動の  
搬送件数である





特別委員会委員	委員長	副委員長
平井 秀幸	大村 富良	飯田喜代子
岡田 壽彦	平野 秀樹	清水 宗一
野田 芳久	滝口 敏夫	山形 誠子
後藤 秀		

**決算審査特別委員会**  
 決算審査特別委員会では、九月二十日から二十二日までの三日間に亘り、本会議で付託された決算の認定に関する議案第64号及び議案第79号について審査しました。

**決算審査特別委員会**

議事最終日に、平成十六年度の本市決算について、決算審査特別委員会の審査報告を受け審議した結果、一般会計並びに特別会計の平成十六年度木更津市歳入歳出決算及び水道事業会計の平成十六年度木更津市水道事業決算を、賛成多数をもって認定しました。

**平成十六年度決算認定について**

し、三百五十点に及び質疑を行い、執行部の説明を求めるとともに、事務事業に関する改善などの要望を行いました。

審査の結果、市税収入の減少と国の三位一体改革の影響による厳しい財政運営の中においても、一般会計及び特別会計では、財政再建のための施策や、都市基盤整備、教育環境整備などに予算が効率的・効果的に執行され、また、市民生活や市民福祉の向上のために適正なものであったと認められ、水道事業会計においても、支出の抑制に努めており、いずれの会計も、賛成者多数をもって決算を認定することと決まりました。

**意見書の提出**

今定例会で議員より提案され可決された発議案2件に基づき、下記の意見書を政府及び関係機関に提出しました。



**自治体病院の医師確保対策を求める意見書**

自治体病院は、地域の中核病院として、高度医療、特殊医療、小児医療、救急医療など多くの不採算部門を担いつつ、地域における医療提供体制の確保と医療水準の向上に努めている。

しかしながら、昨年4月から実施されている新たな医師臨床研修制度の必修化に伴う大学による医師の引き揚げや、医師の地域偏在、診療科偏在等により、地域医療を担う医師の不足が深刻化している。

特に、小児科や産婦人科については、過酷な勤務条件、医療訴訟の多さなどの要因により医師希望者が減少しており、医師の確保が極めて困難な状況にある。そのため、各地で診療の縮小・休止や廃止に追い込まれる病院が相次いでいる。

このような中、各自治体は、医師確保に向けて、懸命の努力を続けているが、医師の確保は、大変困難な状況にあり、地域医療の確保・継続が危ぶまれている。よって、国におかれては、行政、大学、学会、医師会等との連携のもと、地域の医師確保対策として下記事項を早急に実現されるよう強く要望する。

記

- 1 地域医療を担う医師の養成と地域への定着を促進するため、奨学金制度の構築や医学部入学定員における地域枠の設定・拡大、一定期間の地域医療従事の義務化など、新たなシステムを構築すること。
- 2 深刻化している小児科、産婦人科等の医師不足を解消するため、診療報酬等の更なる充実を図るとともに、行政・大学・医療機関等の連携により抜本的な対策を講ずること。
- 3 地域間医療格差を解消するため、中核病院を主軸とした医療ネットワークの構築と連携の強化、医師をはじめ看護師、助産師等の医療従事者の必要人員の確保と養成など、地域医療の充実に向けた諸施策を確立すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年10月4日

千葉県木更津市議会

**障害者自立支援法案に関する意見書**

郵政民営化法案の廃案に伴う衆議院の解散により、身体、知的、精神の障害者福祉サービスを一元化し、利用者に費用の一部負担を求める「障害者自立支援法案」が廃案となった。

この法案の内容に関しては、福祉の切り捨てとも言える医療費の1割負担の導入や、施設利用時における食費等の自己負担など、利用制限にもつながりかねない応益負担が盛り込まれており、全面的に賛成できるものではない。しかしながら、国や都道府県の裁量的経費である補助金から義務的経費である負担金に変更することや、三障害を一元化して障害に関係なくサービス提供をすることとしていることは評価できるものである。

この法案は2006年1月施行予定であったことから、今年度予算ではサービスを実施する市町村に交付される補助金が12月分までしか組まれていない。また、次期国会で法案が再提出されても、来年1月の施行には間に合わないことは明らかであり、年明け以降、市町村の財源不足からサービスの給付を制限するなど、混乱が起こることも予想される。

よって、本市議会は国に対し、法案の再提出に当たっては、障害者が現在受けているサービスを中断することなく、地域生活を継続できるよう下記の事項について強く要望するものである。

記

- 1 法案成立までの利用者の生活に配慮し、2006年1月以降の予算を確保すること。
- 2 法案の再提出に当たっては、障害当事者団体等の意向を尊重し、さらなる慎重審議を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年10月4日

千葉県木更津市議会

**次の定例会は、11月30日(水)から開催される予定です。**

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください

議事を傍聴してみませんか  
 受付で住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。(委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。)  
 会議録の閲覧について  
 平成17年9月定例会会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで12月1日(木)頃から閲覧することができます。  
 インターネットによる会議録の検索・閲覧について  
 市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。

URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/>  
 (平成17年9月会議録は12月上旬公開の予定です。)



